

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ		必修 (精) 選択 (社・心)	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
齊藤 晋治	B308	s-saito	水曜・木曜 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>精神保健福祉士が行う支援を体系的に理解する。精神保健福祉士の基盤となる価値、倫理について理解する。精神保健福祉士が実際のソーシャルワーク実践を行う上で、どのような視点が必要かについて、援助対象者の理解を通して学ぶ。授業では精神障害者への相談援助について体系的な理解を進めていくとともに、多職種協同による精神保健福祉活動について学ぶ。</p> <p><概要>課題学習、同時双方向授業で授業を展開する。課題学習ではテキストを基にしたレジュメを提示し、内容に沿った調べ学習課題の提出を求める。同時双方向授業では事前に提示した授業資料を基に、パワーポイントを用いて授業を進めていく。授業は前回の振り返り、講義、リアクションペーパーの作成の三部構成となっている。</p> <p>また、第 10 回時にレポート提出を課す。内容については授業内で発表する。</p>				
学 習 上 の 助 言	「現代社会と福祉Ⅰ・Ⅱ」で学んだソーシャルワークの歴史を復習しておくこと				
教 科 書	新・精神保健福祉士養成講座 3 精神保健福祉相談援助の基盤 (基礎・専門) 中央法規出版				
参 考 書	授業の中で随時紹介				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉士制度の歩みを理解できる。			HSU(4) 精(2)	
②	相談援助の定義、活動内容が理解できる。			精(2)	
③	精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割が理解できる。			精(1) 精(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業オリエンテーション、授業概要を理解する。「ソーシャルワークの源流と形成過程」について課題を通して学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	2	
2	「日本におけるソーシャルワークの形成過程」「精神保健福祉分野におけるソーシャルワーク」について課題を通して学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	3	
3	「精神保健福祉分野における相談援助活動の対象」について課題を通して学ぶ。①	課題送付・提出・フィードバック	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	3	
4	「精神保健福祉分野における相談援助活動の対象」について課題を通して学ぶ。②	課題送付・提出・フィードバック	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4	
5	「精神保健福祉分野における相談援助活動の目的と意義」「精神保健福祉分野における援助活動の現状と今後の展開」について学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	6	
6	精神保健福祉分野における専門職の概念と範囲について課題を通して学ぶ。①	課題送付・提出・フィードバック	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	6	
7	精神保健福祉分野における専門職の概念と範囲について課題を通して学ぶ。②	課題送付・提出・フィードバック	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。フィードバックを基に前回の確認を行う。	6	
8	「相談援助における権利擁護の概念と範囲」について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読み、事前にレジュメに目を通す。フィードバックを基に前回の確認を行う。	3	
9	「精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割」について学ぶ。①	同時双方向型授業	教科書を読み、事前にレジュメに目を通す。フィードバックを基に前回の確認を行う。	3	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

10	「精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割」について学ぶ。②	同時双方向型授業	教科書を読み、事前にレジュメに目を通す。フィードバックを基に前回の確認を行う。	2
11	「専門職倫理と倫理的ジレンマ」について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読み、事前にレジュメに目を通す。フィードバックを基に前回の確認を行う。	2
12	総合的・包括的な援助を支える理論について理解する。①	同時双方向型授業	教科書を読み、事前にレジュメに目を通す。フィードバックを基に前回の確認を行う。	2
13	総合的・包括的な援助を支える理論について理解する。②	同時双方向型授業	教科書を読み、事前にレジュメに目を通す。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4
14	「多職種連携・チームアプローチの意義と概要」について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書を読み、事前にレジュメに目を通す。フィードバックを基に前回の確認を行う。	4
15	全体のまとめ、振り返り	同時双方向型授業	教科書を読み、事前にレジュメに目を通す。フィードバックを基に前回の確認を行う。	8
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	20	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	5	0	0	0	25
	思考・推論・創造する力	20	5	0	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	20	0	0	0	10	30
	問題を発見・解決する力	10	5	0	0	0	15

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	筆記試験を授業内での全範囲とし、持ち込みは不可とする。70 点満点で計算する。	採点后、成績報告とともに、採点した答案を返却する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①	第 6 回の課題学習の際にレポートのテーマを発表する。第 10 回時にレポートを提出すること。レポートは 2000 字程度とする。レポートは①文章の構成、②学んだ知識、③思考、推論されているか、④問題を発見する力、現実検討能力の 4 つの項目についてルーブリック評価を行う。	コメントをつけて返却する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

その他	①	✓	毎回授業終了時に課題とリアクションペーパーの提出を行う。課題学習時は、課題の文末に記入する。同時双方向型授業時は Microsoft Forms を使用して授業終了時に記入する。講義で理解できた内容、質問、授業の感想の 3 項目で記載する。原則、授業内で回収する。	課題学習時はコメントを記入し返信する。 同時双方向授業では、授業開始時に前回授業の振り返りと合わせ質問にも答える。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

Microsoft Teams をつけた同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードをおこないますので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。

尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。

教員の実務経験：精神科ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 15 年の臨床経験。

実践的授業の内容：教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、精神保健福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。